

## WS 概要および公募要領

第1回 学術知共創プロジェクトワークショップ-WS 参加希望の方へ

テーマ：分断社会の超克——共感・共創・共生

テーマ代表者：大阪大学大学院人間科学研究科 教授 稲場圭信

### 1 本ワークショップのテーマと背景

世界は、地球温暖化、格差拡大、貧困・飢餓、戦争・紛争など様々な問題を抱えています。しかし、科学技術や経済発展への信頼が揺らぎ、格差社会、無縁社会、リスク社会に生きる私たちは分断され、他者と公的および私的な諸問題をシェアすることが困難な状況にあります。今、同時代的に、また世代を超えて誰もが自己の尊厳をもって生きられる社会の構築が希求されています。こうした状況に対して、国際社会は2030年を見据えて「持続可能な開発目標」(SDGs)を設定しました。

内閣府が推進している Society 5.0 や超スマート社会の構想には文理融合、そして社会の様々なアクターとの共創が必要です。利益・効率のみを追い求めてきた後期近代の陥穽を根本から問い直す必要性はないでしょうか。従来のイノベーションのもとに推進されてきたのは科学技術イノベーション Technology-Driven Innovation (TDI) です。TDIのみで進めばそこに生まれるのはマルクスの言う特別剰余価値です。一部の企業、資本家だけが独占して富を得ます。そして終わりなき競争は格差社会と分断社会を生み出しています。共に生きる視点からのソーシャル・デザインとして、多様なヒト・モノ・コトとの共生を志向する協働実践、共創によるイノベーションを「多様性に駆動されるイノベーション Diversity-Driven Innovation (DDI)」と命名し、TDIとDDIが車の両輪として、よりよい社会を目指す、どちらかに偏って暴走しない共生を目指したいと考えています。

人文学・社会科学は、社会のさまざまな〈分断〉と不安(リスク社会、存在論的不安、個人化社会など)の存在を明らかにしてきました。今、その専門知と現場知の融合による共創知の創出により、社会的課題を解決することが求められています。「いのち」重視の視点から他者の様々な状況に共感し、研究者が社会の多様なステークホルダーと連携し、分断社会の超克にむけて取り組む柔軟な研究体制を構築します。この過程において、人文学・社会科学自体も、真理の探究から社会変革にまで寄与する「人文学・社会科学2.0」にアップデートされることを企図します。具体的には、以下の3つのグループを設定し、それぞれ課題解決に向けたチームビルディングを目指したいと考えています。

## 2 方法とグループ設定について

本ワークショップでは、分断社会の超克に向けた知の方法として、人文学・社会学者の結集による専門知と現場知の融合による共創知、そしてTDI とDDI のハイブリッドを採用したいと考えています。また、その具体的な方策として、今回のワークショップでは、分断の心理を克服するための「共感」、科学と文化の「共創」、社会的・文化的分断を乗り越えた「共生」に光を当てた次の3つのグループを設定して、議論を深めたいと考えています。また、WS 終了後に、40代以下の若手研究者に残っていただき、若手研究者セミナーを開催する予定です(16:00~17:30 を予定)。開催プログラムは、あらかじめ設定したテーマについてグループディスカッションを行う予定です (WS概要およびプログラム詳細は後半に記載してあります)。

グループ1-「共感」:分断の心理の超克:分断社会の超克には、まず、〈分断〉のメタ研究から実践に繋げる必要があります。民意の分断、世代間の分断、階層の分断はなぜ生じ、存在するのでしょうか。社会調査によるエビデンスの提示と行動科学的メカニズムの解明により分断を乗り越える方策を提言するチーム構築を期待しています。

グループ2-「共創」:科学と文化の分断の超克:私たちの生活の営みである文化と科学の〈分断〉が、環境問題や災害対応の問題を適切に認識することを困難にし、政策的・政治的な対策の不在の大きな原因の一つとなっています。文化と科学の融合、文系と理系の共創に向けて、社会組織、科学技術、活動と人工物のデザインを横断的に結びつける学問的・実践的なプラットフォームの構築を軸に持続可能な世界への移行を促進するシステムのプロトタイプ創出に期待しています。

グループ3-「共生」:社会的・文化的分断の超克:近代化とグローバリゼーションによって、安全地帯で暮らせる「私」と危険なところにいる「他者」という構図は崩壊しました(『危険社会』)。COVID-19 のパンデミックはじめ、私と他者の共生にむけて、アクションリサーチを実施し、〈分断〉を乗り越えるための「学」の構築を目指します。

このようなグループ設定のもとで、ワークショップへの参加希望者を募りたいと思いますので、参加を希望する方は、以下の要領にしたがって応募してください。

### **3 若手研究者セミナーについて（プログラムは下記参照）**

ワークショップ終了後に、40代以下の若手研究者を対象に若手研究者セミナーを実施します。参加のための申請書の中でアンケートをとる、SDGs および本ワークショップの興味ワードのうち注目が高かった項目をディスカッションのテーマとすることとします（具体的なテーマは当日発表します）。90分ほどと短い時間ではありますが、若手研究者の見識を広げる場となることを願います。

### **4 その後の展開について**

ワークショップ終了後に研究チーム構築についてテーマ代表者、チームリーダー候補および事務局が有機的に連携し、研究計画の策定および外部資金獲得に向けた戦略会議を開始します。

## ●ワークショップ概要

- 日時：2021年1月24日（日）13時～15時30分
- 場所：オンラインによる開催
- プログラム：下記参照
- 対象：本ワークショップの目的に賛同する研究者および社会の実務家
- 定員：30名程度（参加には事前に応募が必要です）
- 参加応募方法：参加応募フォームからオンラインによる申し込みをお願いします。
- 公募期間：2020年12月22日～2021年1月15日（オンライン申込）
- 参加費：無料
- 主催：大阪大学社会ソリューションイニシアティブ

## ●ワークショップへの参加応募方法

- ①ワークショップでは前半に参加者全員に1分間の自己紹介をしていただく予定です。本サイトから「自己紹介シート」(pptファイル)をダウンロードいただき、必要事項を記入したのちにpptファイルをPDF化したものを参加応募フォームよりアップロードしてください。
- ②自己紹介シートには、自由記入欄に「自己紹介」「研究紹介」「WS参加の動機、研究関心」などを記入してください。
- ③参加応募フォームでは、お名前などの「基礎情報」のほか、「付随情報」として、SDGs、WSに関連するキーワード、および「OOな社会を目指したい」などについてご記入くださいますようお願いいたします。これら付随情報は若手研究者セミナーのテーマ選定に参考にさせていただきますと考えております。ぜひ回答にご協力ください。
- ④「オンラインでの開催となるため、より参加者の皆様がお互いを認識できるよう顔写真の掲載に御協力ください（差し支えのある場合は不要です）。ご協力いただける場合、自己紹介シートに添付して下さい。
- ⑤ワークショップ終了後に40代以下の若手研究者に残っていただき、若手研究者セミナーを開催します(16:00～17:30を予定)。形式はテーマに関するグループディスカッションを行う予定です。プログラム詳細は別紙をご参照ください。
- ⑥応募を多数いただきました場合には、プロジェクト・マネージャー及びテーマ代表者の下で、議論の多様性を確保するなどの観点から御参加いただく方を限定させていただく場合がございますこと、予めご了承ください。

<申込・お問合せ先>

学術知共創プロジェクト事務局：

お問い合わせ：専用サイトのお問い合わせフォームよりお願いいたします。

学術知共創プロジェクト専用サイト URL: <https://gakujututi.ssi.osaka-u.ac.jp/>

---

## ～プログラム～

### 【第1回 学術知共創プロジェクトワークショップ】

テーマ：分断社会の超克——共感・共創・共生

司会進行：小出 直史（大阪大学 SSI 特任講師）

13:00 - 13:10 開会挨拶

盛山 和夫（東京大学 名誉教授）

堂目 卓生（SSI 長・大阪大学大学院経済学研究科 教授）

13:10 - 13:15 テーマ代表者挨拶

稲場 圭信（大阪大学大学院人間科学研究科 教授）

13:15 - 13:45 参加者フラッシュトーク

13:45 - 14:00 提案者トーク

14:00 - 14:15 休憩（時間調整）

14:15 - 15:00 グループディスカッション

3 グループ（共感・共創・共生）に分かれてディスカッション

15:00 - 15:10 振り返り

各グループのリーダーから一言

15:20 - 15:30 閉会挨拶

稲場 圭信（大阪大学大学院人間科学研究科 教授）

### 【若手研究者セミナー】

司会進行：小出 直史（大阪大学 SSI 特任講師）

16:00 - 16:10 開会挨拶

稲場 圭信（大阪大学大学院人間科学研究科 教授）

16:10 - 17:20 グループディスカッション

①WS を振り返って

②社会構築へどう参画していくか

③既存の学問体系に足りていないものとその変革に向けて

17:20 閉会挨拶

稲場 圭信（大阪大学大学院人間科学研究科 教授）